

## 令和元年度国際物流拠点活用推進事業の成果概要

事業実施主体	ユーグレナ竹富エビ養殖株式会社 URL : <a href="https://www.euglena-taketomiebi.com/">https://www.euglena-taketomiebi.com/</a>
プロジェクト名	沖縄県産クルマエビのブランド化～脱“不揃いのクルマエビ”～
事業内容	世界に先駆けて養殖クルマエビのサイズ選別の機械化・自動化を進め、消費者が求める均一サイズの高品質クルマエビを提供することで、竹富島から沖縄県産クルマエビのブランド化を推進することを目的とする。
今後の計画	市場相場が下がる時期を中心に、直販の強化を行い、戦略的に1.5～2t/年を県外に直販にて出荷する。また、BtoB商談を継続し、海外輸出販路と必要認証の獲得を目指す。
最終目標と現状	<p>&lt;最終目標&gt; 令和6年度までに、HACCP等の必要認証を取得し、市場以外で10tを県外に流通、うち3t以上を海外輸出することを目標とする。</p> <p>&lt;現状&gt; 未獲得の海外輸出販路を視野に入れたBtoB商談を進めている。またコロナ渦において直販の販促を強化し、例年0.1t/年であった出荷量を1t/月のまで伸ばすことに成功。これにより、200名以上のリピーター獲得、さらに、飲食店の卸業者との新規取引に成功した。</p>
補助事業の効果	<p>クルマエビ養殖業界初のサイズ選別の機械化を行い、効率的に高品質なクルマエビを出荷することが可能となった(図1)。同時に、大幅な業務時間外労働の削減(繁忙期の12月で前年より約20時間減/人)に成功した。</p> <p>また、活〆冷凍クルマエビを効率的に生産・保管する体制を確立したことから、直販の流通量増加が可能となった。特に、新型コロナウイルス緊急事態宣言下ではフェリー・航空便の減便により市場への活クルマエビの販売が難しかったことから、活〆冷凍クルマエビの直販強化に切り替え、多くのリピーターを獲得することに成功し、メディアにて取り上げられた(図2)。</p>



図1：クルマエビ業界で初めて導入された自動エビ選別機。効率的にサイズ選別が行われる。



図2：直販強化の取り組みが取り上げられた(八重山毎日新聞2020/7/23)

活

沖縄 竹富島産

くるまえばい

(養殖)

沖縄 竹富島より活きたままお届け！

1 kg

約 40 ～ 50 尾

700 g

約 25 ～ 35 尾

500 g

約 15 ～ 25 尾

贈答用

発送期間

1月下旬～  
2月下旬(予定)

受付  
場所

石垣島

竹富島

瀬戸商店【本店・離島ターミナル店】

〒907-0012 石垣市美崎町 1-2 (0980-82-3939)

食事処やらば・かにふ 各島内各所にて受付中

ユーグレナ竹富エビ養殖

〒907-1101 沖縄県八重山郡竹富町字竹富1414  
TEL 0980-85-2212 FAX 0980-85-2219  
MAIL info@takekomi-ebi.com



★冷凍エビは、ポケットマルシェさんからも発注頂けます。👉

[https://poke-m.com/producers/2804?related\\_article\\_type=products#detail\\_relation](https://poke-m.com/producers/2804?related_article_type=products#detail_relation)